

# つるが国際シンポジウム2019

— 新たな試験研究炉への期待: 立地地域との共生のあり方 —

参加費  
無料

各日員  
300名  
事前申込不要

自由にご参加  
ください!

2019年

10/17木・18金

11:15開場 / 9:15開場

福井県若狭湾エネルギー  
研究センター ホール

福井県敦賀市長谷64-52-1

2016年の原子力関係閣僚会議で、将来的に「もんじゅ」の敷地を活用して、新たな試験研究炉を設置することが決まりました。わが国の今後の原子力研究や人材育成を支える中核的拠点となるよう位置づけられます。原子力利用には原子力発電の他に試験研究炉の利用も含まれ、基礎研究、医療や産業応用など、様々な分野で、皆さまの生活に貢献しています。地域の皆さまに、試験研究炉について理解をより深めていただきたくシンポジウムを開催します。多くの皆さまのご来場を心よりお待ちしております。

## PROGRAM

〔使用言語〕 日本語及び英語 (同時通訳あり)

### 1日目/10月17日(木)

第1部 12:00 ~ 13:50 「試験研究炉」とはなにか～国内外の取組～  
東京大学、国際原子力機関 (IAEA)、文部科学省

第2部 14:05 ~ 17:10 国内事例から学ぶ試験研究炉の未来への期待

報告 京都大学複合原子力科学研究所、福井大学附属国際原子力工学研究所  
学生パネルディスカッション 福井大学、福井工業大学、東京大学、京都大学、近畿大学

### 2日目/10月18日(金)

第1部 10:00 ~ 12:00 試験研究炉を活用した社会貢献～地域との関わり～  
13:20 ~ 14:20 日本原子力研究開発機構、ミュンヘン工科大学、ノースカロライナ州立大学、東芝エネルギーシステムズ株式会社、公益社団法人日本アイソトープ協会

第2部 14:35 ~ 16:45 試験研究炉を活用した社会貢献～国内外の事例から学ぶ～  
パネルディスカッション

東京大学、国際原子力機関 (IAEA)、ミュンヘン工科大学、ノースカロライナ州立大学、福井工業大学、東芝エネルギーシステムズ株式会社、日本原子力研究開発機構、文部科学省

## 各種展示

大学、企業、研究機関 [説明者あり]

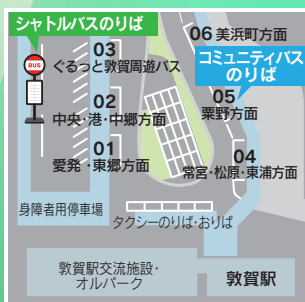
無料シャトルバス運行!

	10/17(木)	10/18(金)
シャトルバス	敦賀駅発 11:00 11:40	9:10 9:40 12:30
	エネ研発 (予定時刻) 17:30 18:00	13:00 17:00 17:40
敦賀市 コミュニティバス 大人200円	敦賀駅発 11:10 12:50 15:10	8:05 11:10 12:50 15:10
	エネ研発 13:31 15:48 17:01	11:48 13:31 15:48 17:01

敦賀駅前5番のりば(栗野方面)山・公文名線 2018.11.1改正

お知らせ

会場周辺に飲食施設がないため、2日目は会場でお弁当、軽食、コーヒー等の販売を行います。会場内での飲食は可能ですが、弁当がら等のゴミは指定された場所にお捨て下さい。



■舞鶴若狭自動車道敦賀南スマートIC下車約1分 ■JR敦賀駅から車で約20分

お問い合わせ 公益財団法人 原子力安全研究協会 TEL:03-5470-1985 E-mail tis@tis.mext.go.jp

WEB <http://www.tis.mext.go.jp/>

Twitter @TISymposium

主催 / 文部科学省

共催 / 福井県

敦賀市 福井大学



1日目

10月17日(木)

11:15 開場  
12:00 主催者挨拶、共催者挨拶

第1部 ● 「試験研究炉」とはなにか～国内外の取組～  
12:20

- 12:20～12:50 基調講演 試験研究炉とはなにか  
上坂充 東京大学大学院工学系研究科原子力専攻教授
- 12:50～13:30 基調講演 海外における試験研究炉の動向  
ラム・シャルマ 国際原子力機関 (IAEA) 核燃料サイクル・廃棄物技術部研究炉課長代理・原子力エンジニア
- 13:30～13:50 基調講演 我が国の試験研究炉の現状と今後の方向性について  
清浦隆 文部科学省研究開発局原子力課長

13:50 休憩

第2部 ● 国内事例から学ぶ試験研究炉の未来への期待  
14:05

- 14:05～14:35 報告 京大における試験研究炉の研究教育活動と地域との関係  
川端祐司 京都大学複合原子力科学研究所所長・教授
- 14:35～15:05 報告 福井県における試験研究炉の利用ニーズ  
宇笠正美 福井大学附属国際原子力工学研究所所長・教授

15:05 休憩

15:20～17:00 学生パネルディスカッション 試験研究炉による研修成果と新たな試験研究炉への期待

- コーディネーター** 上坂充 東京大学大学院工学系研究科原子力専攻教授  
川端祐司 京都大学複合原子力科学研究所所長・教授  
宇笠正美 福井大学附属国際原子力工学研究所所長・教授
- パネリスト** 渡辺将弘 福井大学大学院工学研究科原子力・エネルギー安全工学専攻修士課程2年  
青木祐太郎 福井工業大学大学院工学研究科応用理工学専攻原子力技術応用工学コース博士後期課程2年  
尾関政文 東京大学大学院工学系研究科原子力国際専攻修士課程1年  
石黒明成 京都大学大学院エネルギー科学研究科エネルギー基礎科学専攻修士課程2年  
島津美田 近畿大学大学院総合理工学研究科エレクトロニクス系工学専攻修士課程2年

17:00 閉会挨拶 文部科学省

2日目 10月18日(金)

9:15 開場  
10:00 主催者挨拶

第1部 ● 試験研究炉を活用した社会貢献～地域との関わり～  
10:10

- 10:10～10:40 講演 原子力機構における研究炉の利用状況と社会貢献  
三浦幸俊 日本原子力研究開発機構理事(原子力科学研究部門長、安全研究・防災支援部門長)
- 10:40～11:20 講演 ミュンヘン工科大学における研究炉の利用研究と社会貢献  
アントン・カステンミュラー ミュンヘン工科大学(ドイツ)ハインツ・マイヤー・ライプニッツ中性子研究所(FRM II)テクニカルディレクター
- 11:20～12:00 講演 ノースカロライナ州立大学における研究炉の利用研究と社会貢献  
アイマン・ハワリ ノースカロライナ州立大学(米国)原子力工学部特別教授・原子炉プログラム長

12:00 休憩(昼食)

- 13:20～13:50 講演 企業による試験研究炉の利活用について  
吉岡研一 東芝エネルギーシステムズ株式会社エネルギーシステム技術開発センター原子力技術研究所参事
- 13:50～14:20 講演 国内における放射性同位元素の医療利用  
北岡麻美 公益社団法人日本アイソトープ協会医薬品部医薬品・試薬課課長

14:20 休憩

第2部 ● 試験研究炉を活用した社会貢献～国内外の事例から学ぶ～  
14:35

14:35～16:35 パネルディスカッション 試験研究炉を利用した研究開発と社会貢献について

- 座長** 上坂充 東京大学大学院工学系研究科原子力専攻教授
- パネリスト** ラム・シャルマ 国際原子力機関 (IAEA) 核燃料サイクル・廃棄物技術部研究炉課長代理・原子力エンジニア  
アントン・カステンミュラー ミュンヘン工科大学(ドイツ)ハインツ・マイヤー・ライプニッツ中性子研究所(FRM II)テクニカルディレクター  
アイマン・ハワリ ノースカロライナ州立大学(米国)原子力工学部特別教授・原子炉プログラム長  
来馬克美 福井工業大学工学部原子力技術応用工学科教授  
吉岡研一 東芝エネルギーシステムズ株式会社エネルギーシステム技術開発センター原子力技術研究所参事  
三浦幸俊 日本原子力研究開発機構理事(原子力科学研究部門長、安全研究・防災支援部門長)  
清浦隆 文部科学省研究開発局原子力課長

16:35 閉会挨拶 文部科学省

※場外にて展示ブースを開催